

(2) 家族・家庭

▶▶ 1 同居家族

問
今、あなたといっしょに住んでいるのはだれですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

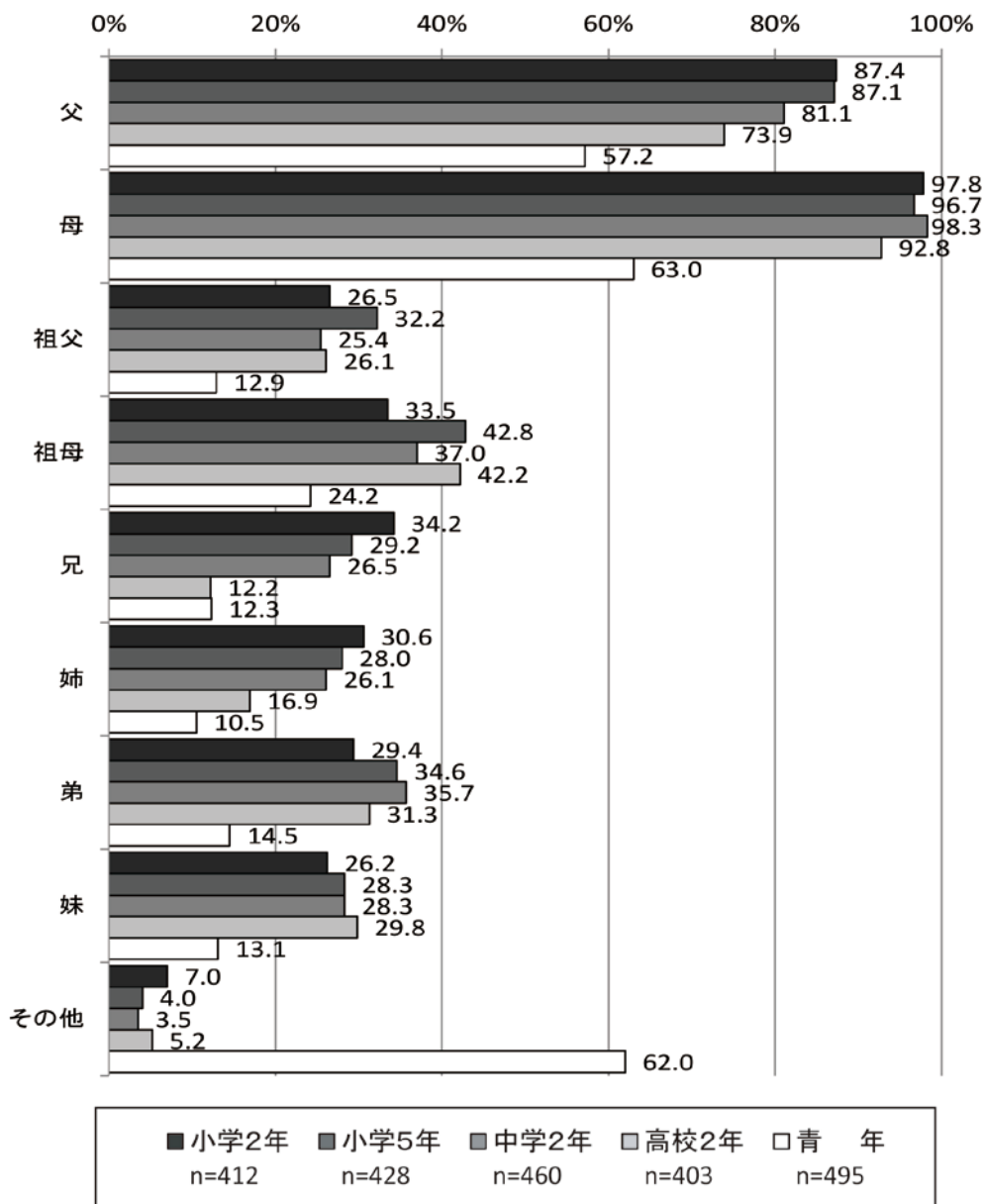
父の同居の割合と母の同居の割合を比較すると、全ての年代で10～20%母の同居の割合が高い。

父の同居の割合は、年代が上がるにつれて低下している。また、母の同居の割合は、小学2年から高校2年まで90%以上、青年のみ63%となっているが、父の同居の割合は、小学2年から中学2年は80%以上だが、高校2年で74%、青年57%と母親より早い時期に同居の割合が低下し始めている。

青年の「その他」62%の内訳は、「配偶者」は23.6%、「ご自身のお子さん」15.6%、「その他の人」5.7%、「同居家族はいない」17.2%である。

図3

同居家族

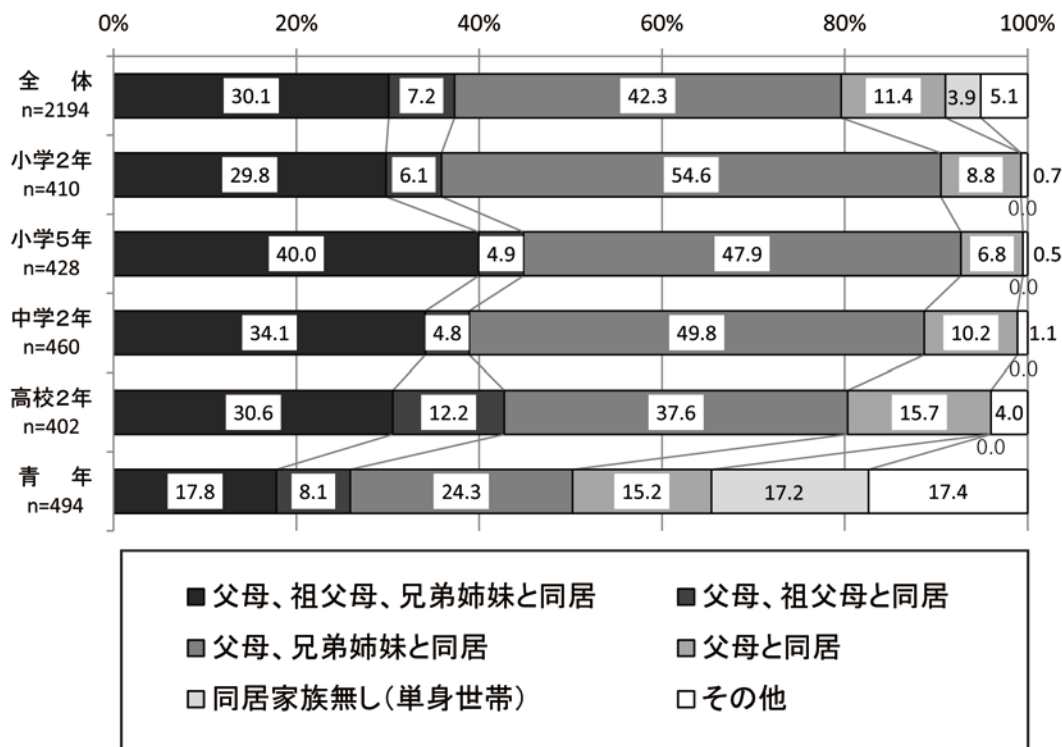


▶▶▶ 2 家族構成

同居家族の回答について、「父母、祖父母、兄弟姉妹と同居」「父母、祖父母と同居」「父母、兄弟姉妹と同居」「父母と同居」「同居家族無し（単身世帯）」「その他」の6つに分類し、家族構成のパターン別に集計を行った結果、小学2年から高校2年の各年代で、「父母、兄弟姉妹と同居」が4～5割と最も高く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹と同居」が3～4割となっている。

図4

家族構成



※「父母」「祖父母」「兄弟姉妹」は、いずれも該当する親族と一人でも同居していれば、その親族と同居している区分とした。

(例)

回答が「父」「母」「祖母」「弟」と同居であった場合、「父母、祖父母、兄弟姉妹と同居」に区分

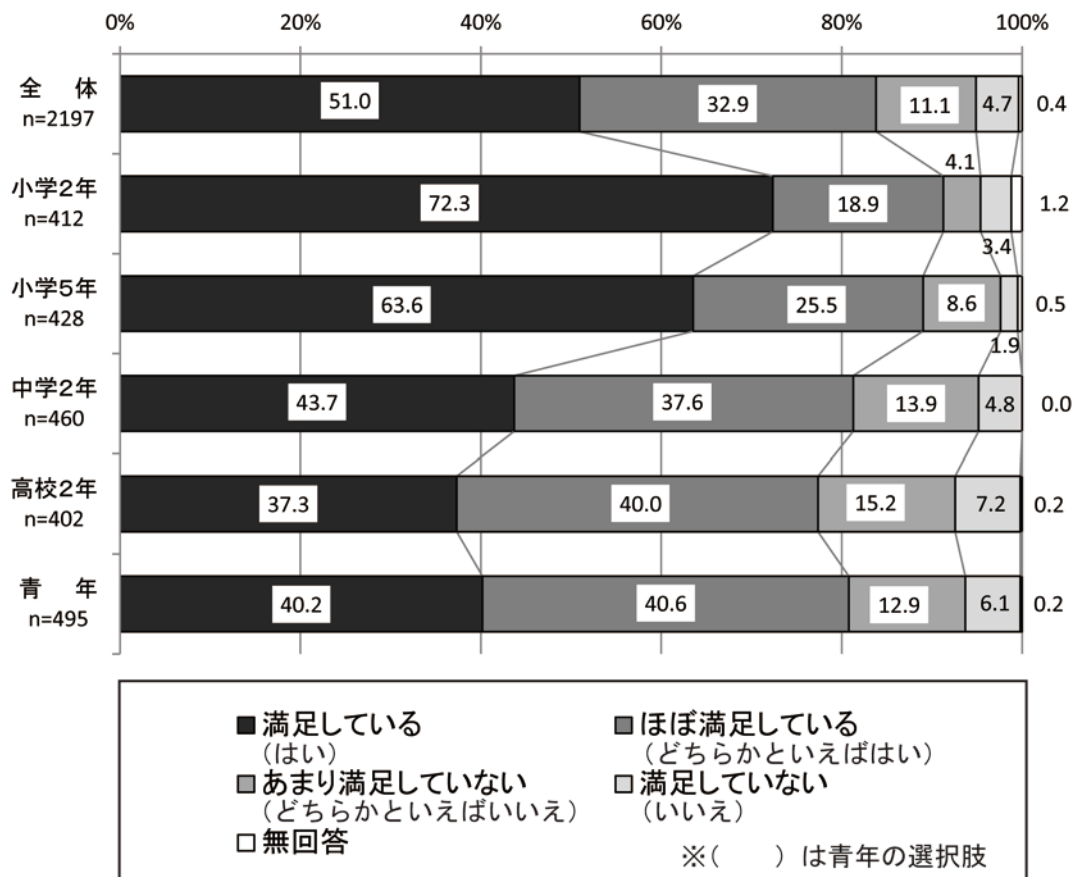
▶▶▶ 3 家庭生活の満足度

問
あなたは、家庭での生活に満足していますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

「満足している」の割合は、年代が大きくなるにしたがい低くなっているが、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた割合は、各年代とも概ね8割を超えている。

図5

家庭生活の満足度



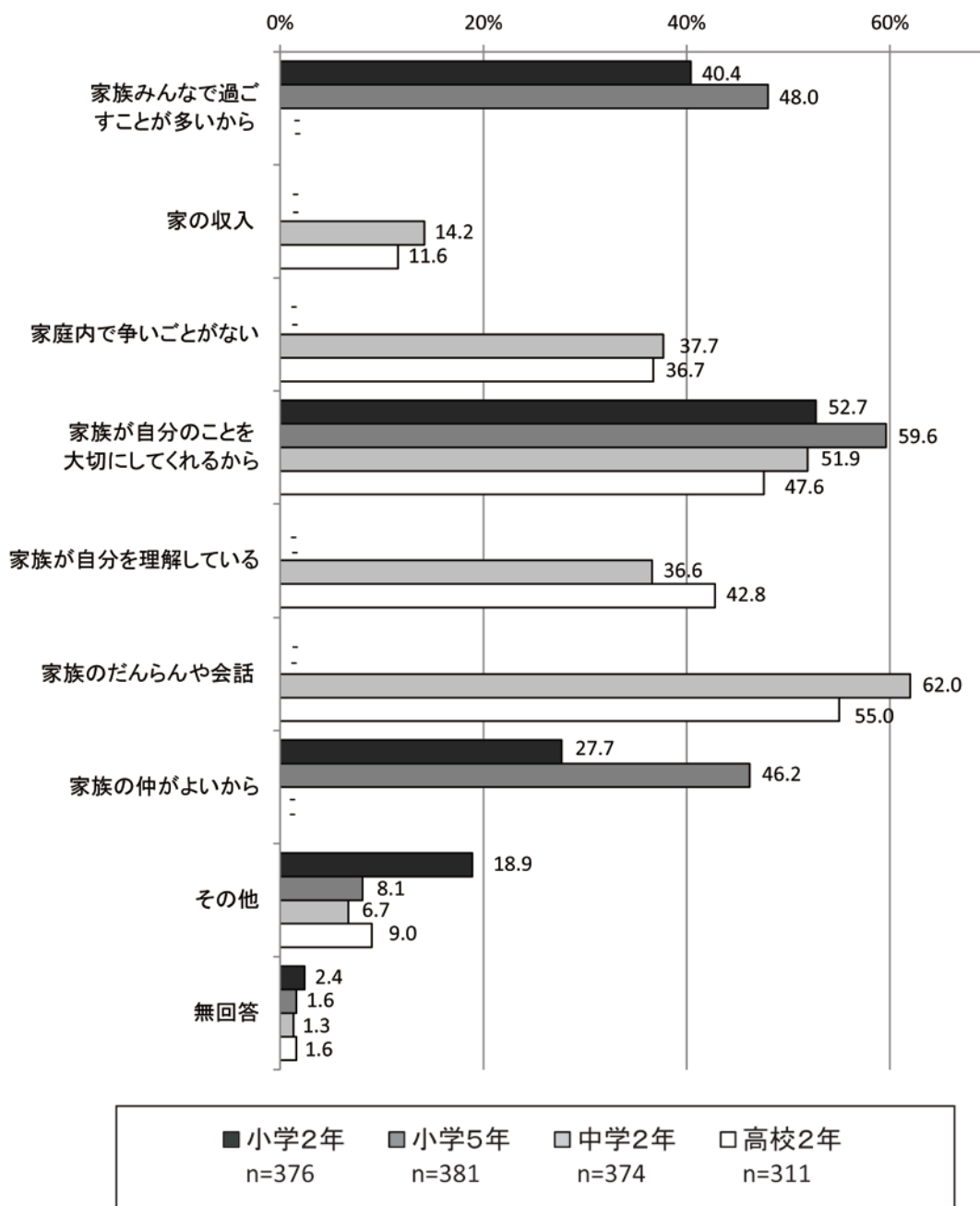
▶▶▶ 4 家庭生活満足の理由

問
 質問25（家庭生活の満足度）で「1 満足している」、「2 ほぼ満足している」を選んだ人に質問します。満足している理由は何ですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

各年代とも「家族が自分のことを大切にしてくれるから」が5割程度となっている。小学2年、5年では「家族みんなで過ごすことが多いから」が4～5割、中学2年・高校2年では「家族のだんらんや会話」が5～6割であった。

図6

家庭生活の満足の理由



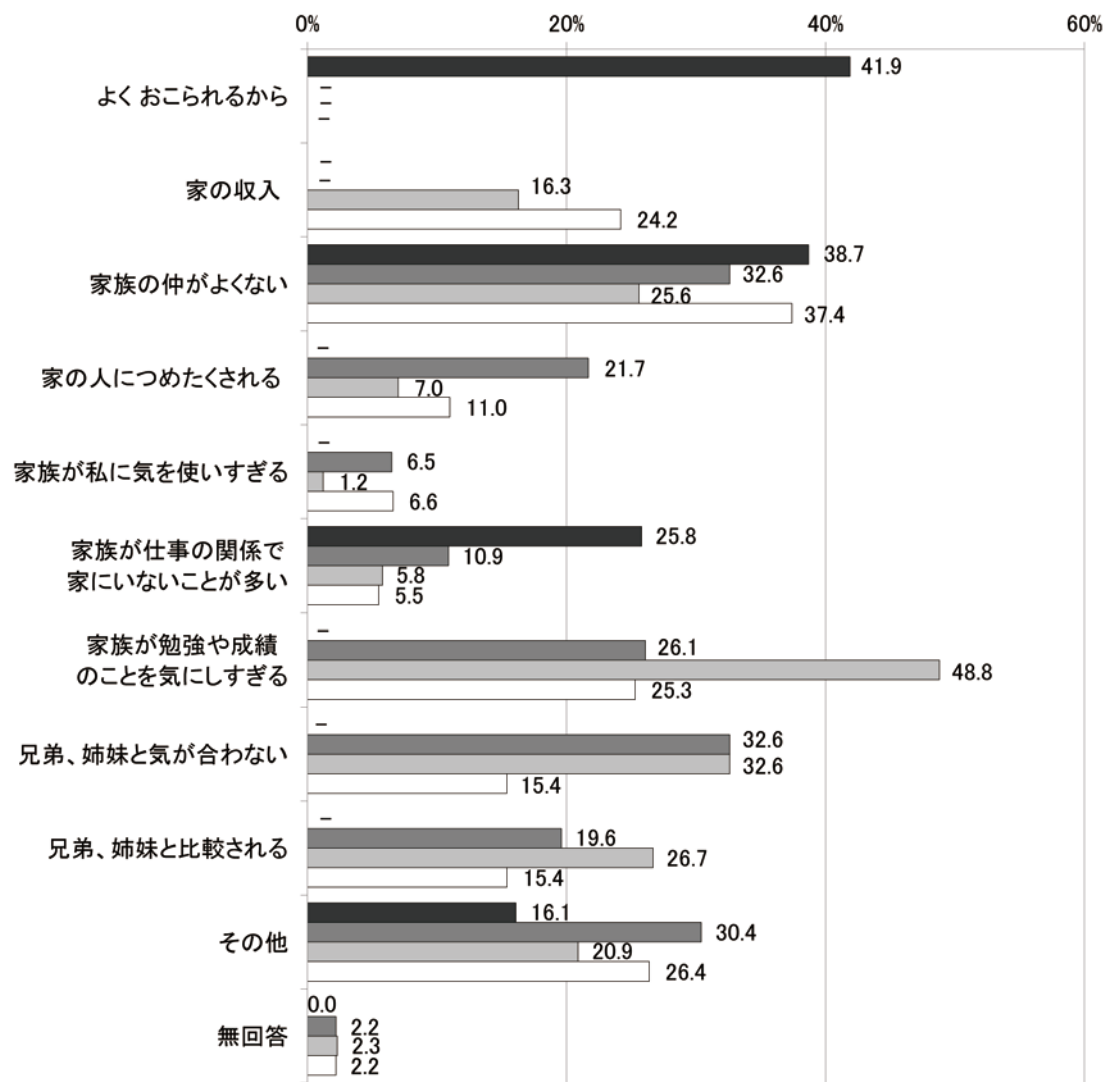
▶▶▶ 5 家庭生活不満足の原因

問
 質問25（家庭生活の満足度）で「3 あまり満足していない」、「4 満足していない」を選んだ人に質問します。満足していない理由は何ですか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

小学2年では「よくおこられるから」が最も多く4割を上回り、小学5年では「兄弟、姉妹と気が合わない」が約3割、中学2年では「家族が勉強や成績の事を気にしすぎる」が約5割となっている。各年代とも共通して、3割前後が「家族の仲がよくない」をあげている。

図7

家庭生活の不満足の原因



■ 小学2年 n=31 ■ 小学5年 n=46 ■ 中学2年 n=86 □ 高校2年 n=91

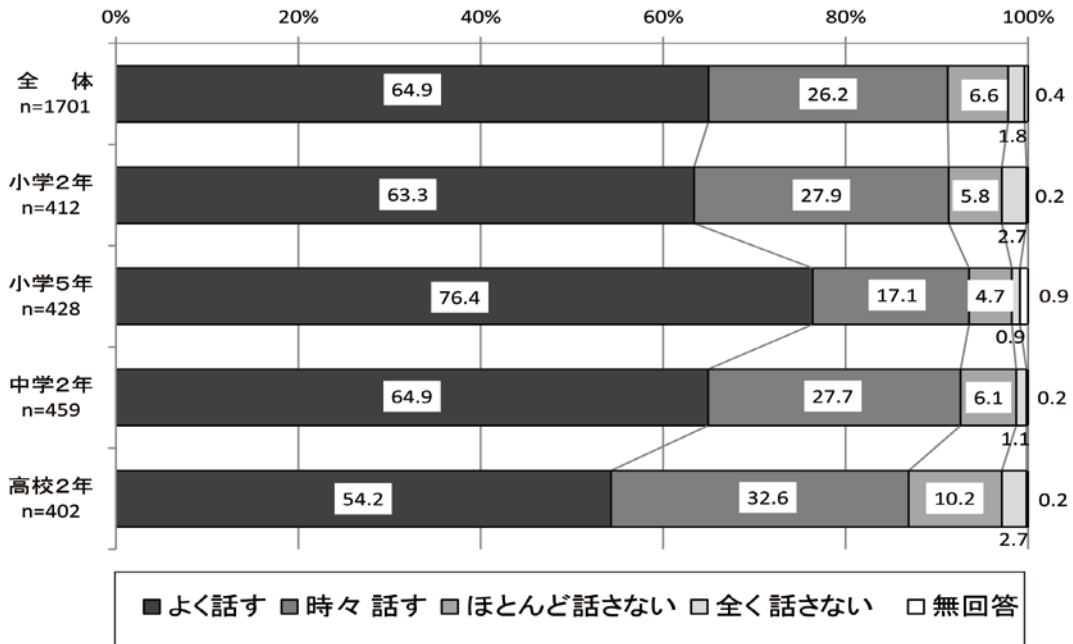
▶▶▶ 6 大人の家族との会話の頻度

問
あなたは、大人の家族（兄弟、姉妹以外の家族）とどれぐらい話をしますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

「よく話す」「ときどき話す」を合わせれば、各年代とも概ね9割を超えている。

図8

大人の家族との会話の頻度



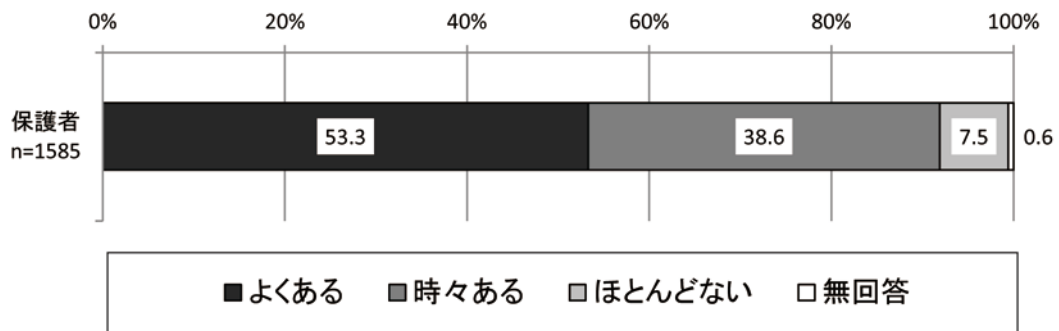
▶▶▶ 7 保護者から見た、子どもとの会話の頻度

問
お子さんは学校や友達のことを、よく話しますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

「よくある」が50%程度にとどまり、「ほとんどない」が7.5%であった。

図9

保護者から見た、子どもとの会話の頻度



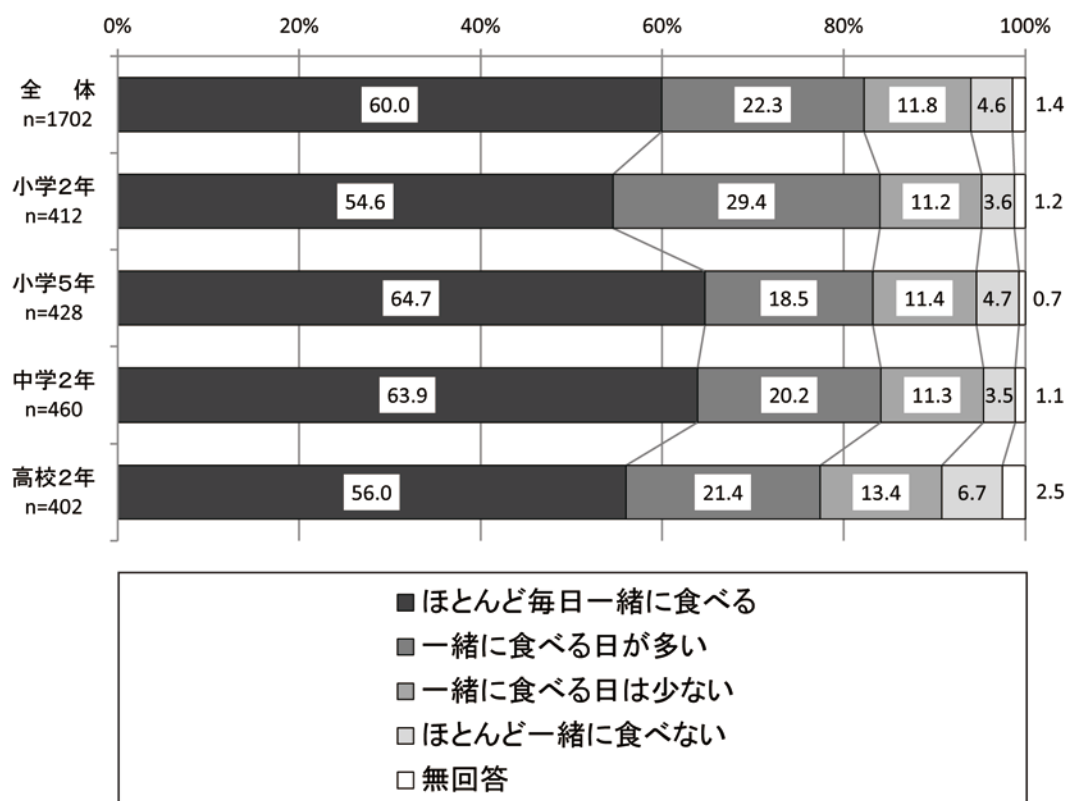
▶▶ 8 大人の家族と夕食を一緒に食べる頻度

問
あなたは、大人の家族（兄弟、姉妹以外の家族）と一緒に夕食を食べますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

「ほとんど毎日一緒に食べる」と「一緒に食べる日が多い」を合わせると各年代とも概ね80%を超えているが、「ほとんど一緒に食べない」が5%前後ある。

図10

大人の家族と夕食を一緒に食べる頻度

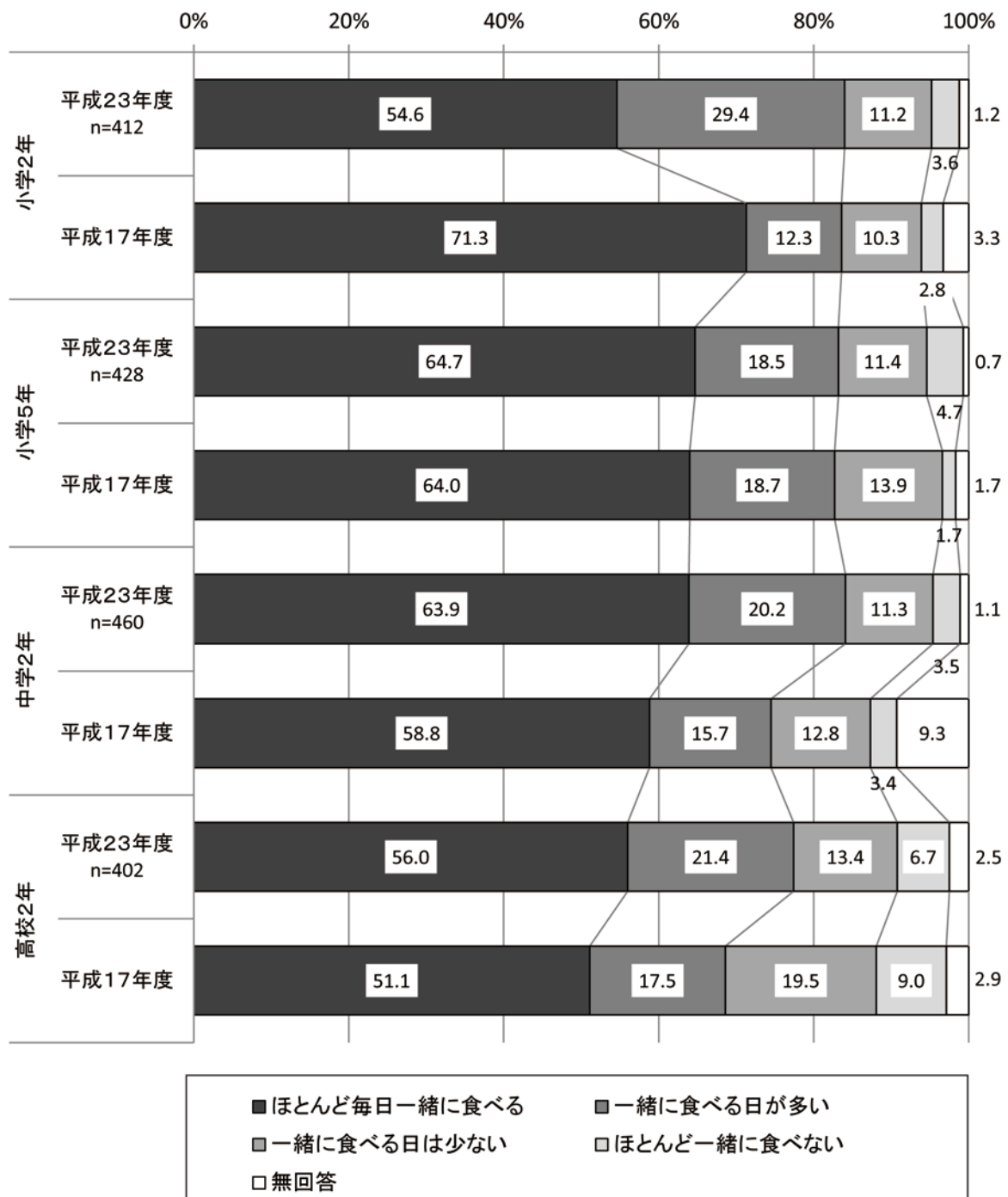


▶▶▶ 9 大人の家族と夕食を一緒に食べる頻度(平成17年度調査との比較)

問
あなたは、大人の家族(兄弟、姉妹以外の家族)と一緒に夕食を食べますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

年代が上がるに従い「一緒に食べる頻度」が下がっていく傾向は、平成17年度調査と同じであるが、高校2年の「ほとんど毎日一緒に食べる」「一緒に食べる日が多い」とも割合が平成17年度調査より5%程度増加した。

図11 大人の家族と夕食を一緒に食べる頻度(平成17年度調査との比較)



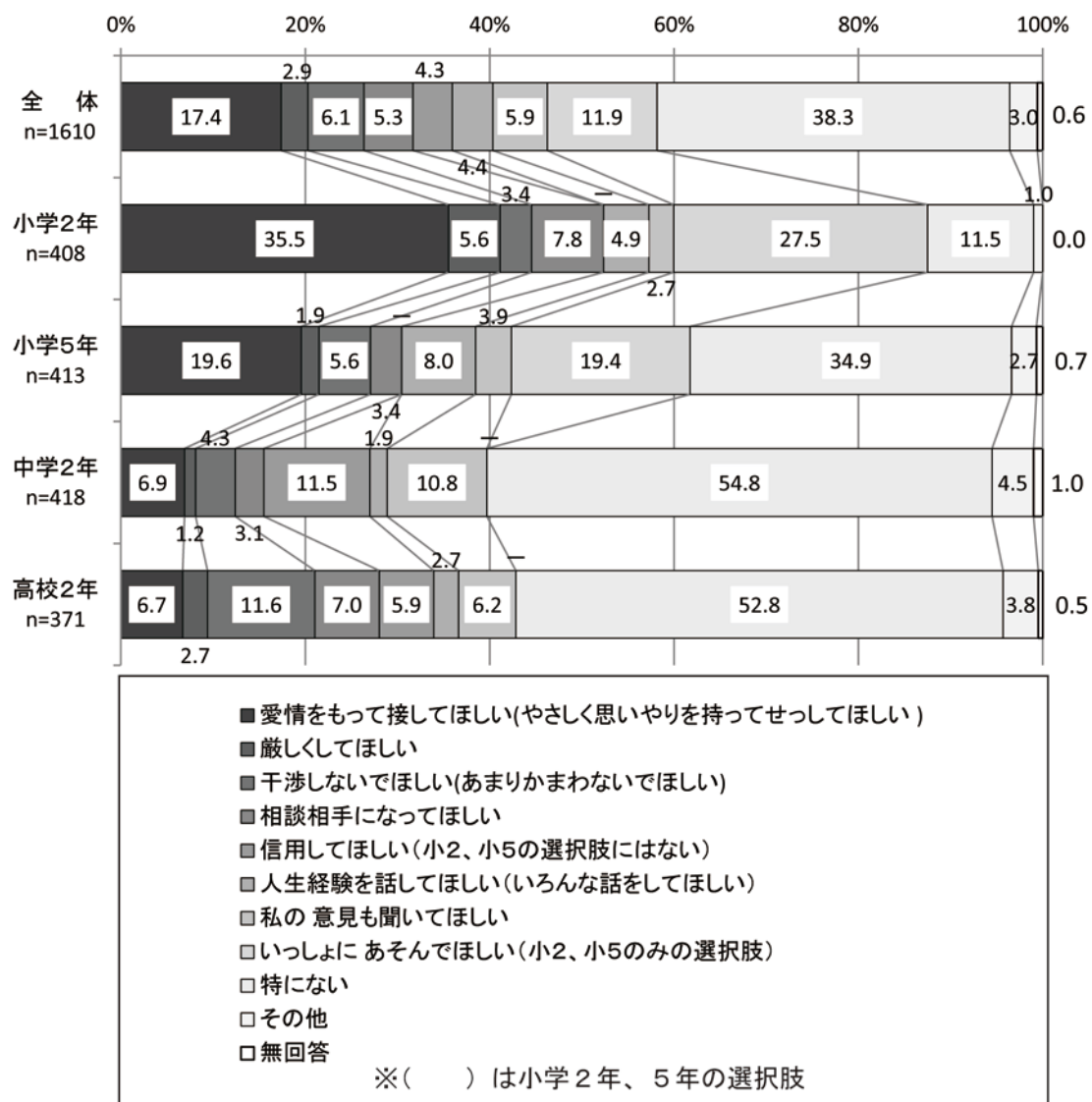
▶▶▶ 10 大人の家族へ望むこと

問
あなたは、大人の家族（兄弟、姉妹以外の家族）に何を望みますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

年代が大きくなるほど「特にない」が増加している。

図12

大人の家族へ望むこと

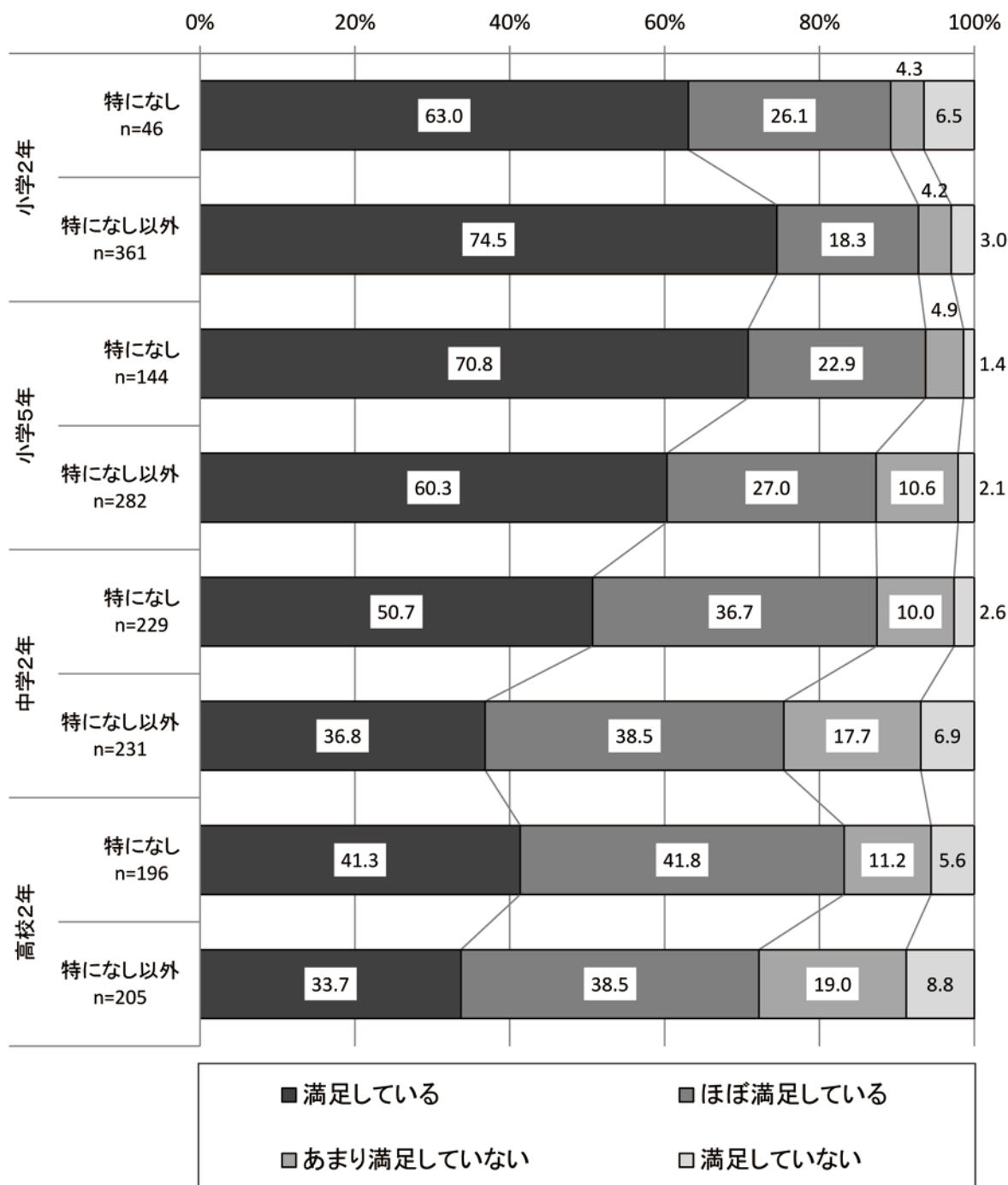


小学5年、中学2年、高校2年では、大人の家族に望むことが「特になし」と回答した割合が最も多かった。これが、家族関係に満足度を反映したものか、反対にあまり家族へ期待していないことを反映したものか傾向を明らかにするため、大人の家族へ望むことが「特になし」を選択した群と選択しなかった群別に、家庭生活満足度についてクロス集計を行った。

クロス集計の結果、小学5年、中学2年、高校2年では、大人の家族に望むことが「特になし」を選択した群は、選択しなかった群より、家庭生活に「満足している」と回答した割合が1割前後高かった。

図13

家族への要望「特になし」の選択状況別 家庭生活満足度



▶▶▶11 家庭でのしつけの内容

問
 あなたが、大人の家族（兄弟、姉妹以外の家族）からよく注意されるのはどんなことですか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。（青年と保護者は自分が家庭で受けたしつけで良かったこと）

年代別に見ていくと、小学2年は「勉強のこと」が一番多く、次に「整理・整とんのこと」、「時間を守ること」と続いている。小学5年、中学2年、高校2年はそれぞれが、「勉強のこと」が一番多く、次に「整理・整とんのこと」、「自分のことは自分ですること」の順である。

青年、保護者で自分が家庭で受けたしつけで良かったことは、割合の高い順に「礼儀正しくすること」「社会のルールを守り人に迷惑をかけないこと」「時間を守ること」であり、子で最も多い「勉強のこと」は1割に満たない。

表2

家庭でのしつけの内容

(単位：%)

選択肢		勉強のこと	整理・整とんのこと	時間を守ること	身だしなみを整えること	金銭や物を大切にすること	礼儀正しくすること（あいさつ、ことばづかい、返事など）	自分のことは自分ですること	自分が言ったことには責任をもつこと	ねばり強く物事をやり通すこと
小学2年	n=412	44.2	35.0	34.5	13.6	24.5	30.1	32.0	30.6	25.5
小学5年	n=424	42.9	40.6	19.3	6.1	17.2	11.8	20.5	7.5	4.5
中学2年	n=434	63.4	43.5	13.1	6.7	15.4	13.4	20.5	8.1	6.9
高校2年	n=495	45.3	36.3	12.4	7.8	12.2	17.4	18.4	7.5	3.4
青年	n=495	7.5	9.3	17.6	8.5	25.3	42.2	15.4	10.5	10.7
保護者	n=1565	4.2	7.8	22.9	7.2	26.4	48.1	24.0	10.9	13.0

選択肢		進んで新しい方法を考やをけと	落ち着いて動くこと	相手理解自分な見尊重すること	のをし、とるをすこと	集団の一として助うこと	社会のルールを守り人に迷惑をないこと	正しいうことをことう	働くやがいと	特に、何もしつけられなかった	その他	無回答
小学2年	n=412	—	23.1	20.6	17.0	26.7	—	22.1	11.2	9.0	0.2	
小学5年	n=424	1.9	9.7	1.2	5.0	8.3	2.6	6.1	6.6	4.7	0.5	
中学2年	n=434	1.8	5.3	3.0	1.6	7.8	5.5	3.5	6.5	3.2	0.7	
高校2年	n=495	1.3	6.2	1.8	0.8	12.4	4.4	2.1	10.9	4.7	1.0	
青年	n=495	1.4	2.8	11.7	4.6	34.3	11.1	6.3	8.5	2.6	0.6	
保護者	n=1565	1.6	1.6	10.8	5.8	38.8	7.0	9.0	5.9	2.0	1.3	